

おいしい！おいしい！

対象児：1歳児ばら組
作成日：2025.02.07
作成者：坂本七海

○ねらい：友だちや保育者と一緒に喜びや達成感をもって遊ぶことを楽しむ。



○保育の振り返り

ボール遊びが大好きなばら組さん。カラーボールを出すと「きゃー！」と大はしゃぎで、ボールを集めたり投げたり転がしたり、たくさんの笑顔が見られます。今月は節分もあり、得意のボールで鬼退治…とはいきませんでした。その後も「おにはそと！」と、画用紙に描いた鬼めがけてボールを投げる的当てゲームに夢中な様子が伺えます。的を狙って投げるのが上手になってきたので、カゴを壁に貼り付けて玉入れをやってみることにしました。「おいしい！おいしい！」「はいった！やったー！」など、自分の投げたボールがカゴに入ったのか、入らなかったのかを見極める力が身についていることに大きな成長を感じました。入らなくても「おいしい」という言葉を使って励まし、応援し、「もういっかい！」と何度も挑戦する姿もみられました。カゴの大きさや高さを工夫し、難易度を変えてみると、「とどかない…」と背伸びしたり、箱を持って来て踏み台にしたりと、子どもたちなりに考えて遊んでいることがわかりました。最後の片付けまでが遊びで、保育者が「ボールさんあつまれ～！」と呼び掛けると、ボールをたくさん抱えて持ってくる子、おもちゃ箱をボールの傍まで持って行ってあげる子など、楽しみながら片付けをすることもできました。

日々子ども達の様子から、何が必要か、どんな力が備わってきていて、どんな発達を促していけばいいのかを考えながら環境を工夫する大切さを改めて実感しました。今回の玉入れでは、素材（カゴ）の重さや硬さ、壁へのつけ方によって落ちてきてしまうかもしれないという危険性もありました。布でくくりつける、ガムテープで固定して時々接着具合を見るなどして、見守りました。もっとよりよい方法を探すには、保育者同士で話し合ったり、教材研究をしたりすることが必要だと思います。発達について再確認し、子ども達と一緒に楽しみながら、達成感や満足感のある遊びを考えていきたいです。（言葉による伝え合い、思考力の芽生え、自立心）